

【頼朝の死】 源頼朝の三回忌法要の日。嫡男の頼家は、落馬が原因といわれて、いる父の死に疑いを抱き、懊惱の日々を送っていました。頼家は、畠山重保が真相を知っているのではないかと問い合わせたのですが、その死の要因に深く関わっている重保は黙して語りません。しかし重保に恋心を抱く小周防が口を開こうとしたため、重保はやむなく小周防を斬ります。この全てを知る母の尼御台所政子は「家は末代、人は一世」と言い放ち、頼家の懲らしめとなるのでした。

頼家の苦悩を中心に、登場人物の葛藤を巧みに描いた真山青果の名作をお楽しみ下さい。

【石切梶原】 鎌倉鶴ヶ岡八幡宮に参拝に来た平家方の武将、大庭景親と弟の俣野景久のもとへ、青貝師の六郎太夫と娘梢が重宝の刀を売りにやって来ます。大庭に刀の目利きを頼まれた梶原平三景時は、これは稀に見る名刀であると鑑定しますが、これに納得できない俣野の意見で二人の人間を重ねて斬る「二つ胴」で斬れ味を試すことに。あいにく獄屋にいる囚人は呑助ただ一人で、人数が足りません。娘のために、刀を売つて金の工面をしたい六郎太夫は、口実を作つて梢を家に帰らせると、自らその役を買つて出ます。試し斬りを請け負つた梶原は、一気に刀を振り下ろしますが、真つ二になつたのは呑助だけで…。

智勇を兼ね備えた魅力あふれる武将の颯爽とした姿を活写した、名作義太夫狂言をご堪能下さい。

【連獅子】 清涼山の麓にある石橋で、狂言師の右近と左近が、石橋の謂れや文殊菩薩の靈獸である獅子が仔獅子を千尋の谷に突き落とす様子を踊つて見せます。やがて法華僧の日門と淨土僧の専念がやってきますが、お互ひの宗派の違いから言い合いになるところ、おどろおどろしい山風が吹き、驚いて逃げて行きます。程なくして先ほどの狂言師が、親獅子と仔獅子の精となつて現われ、獅子の豪放華麗な狂いを見せ、勇壮に舞い納めるのでした。

能の「石橋」をもとに親子の情愛を描いた人気舞踊を上演致します。

夜の部 (午後四時三十分開演)

【吹雪峠】

荒れ狂う吹雪の中、必死の思いで山小屋に辿り着いた助蔵とおえん。おえんは、助蔵の兄貴分である直吉の女房でしたが、助蔵と密通を見て見せます。やがて法華僧の日門と淨土僧の専念がやってきますが、お互ひの宗派の違いから言い合いになるところ、おどろおどろしい山風が吹き、驚いて逃げて行きます。程なくして先ほどの狂言師が、親獅子と仔獅子の精となつて現われ、獅子の豪放華麗な狂いを見せ、勇壮に舞い納めるのでした。

【夏祭浪花鑑】

堺の魚屋団七九郎兵衛は喧嘩の末、浜田家臣大鳥佐賀右衛門の中間に怪我を負わせた罪で牢に入れられましたが、ある人の執り成しで死罪を免れて所払いとなります。その恩人の息子である玉島磯之丞の恋人琴浦のために立廻る団七でしたが、敵と思っていた一寸徳兵衛と同じ恩人を主筋にすることを知つて、兄弟の義を結ぶのでした。一方、人を殺めた磯之丞を匿つている釣船三婦は、磯之丞を国許へ帰すのに徳兵衛女房お辰と同道させたいのですが、若く美しいお辰を見て難色を示します。するとお辰は鉄弓で自らの顔を傷付けて、その役引き受けますところが佐賀右衛門の手先となつている団七の男三河屋義平次は琴浦を連れ去つてしまい、その舅の悪事を知つた団七は…。

盛夏の大坂を舞台に恩人の息子とその恋人のために奔走する人々の心意気を描いた、季節感溢れる義太夫狂言の名作を上演致します。

【かさね】 武家に仕えていた与右衛門は、腰元のかさねと深い仲でしたが、不義密通を重ねたため、かさねを残し出奔。与右衛門を追つて木下川堤までやつて来たかさねは、ついに再会を果たします。しかし、実は、与右衛門はかさねの母と密通し、義父を殺していたのです。その怨念がかさねに乗り移り、美しかったかさねが心も体も醜く一変。与右衛門は、父を殺した鎌でかさねを殺しますが、その怨念が与右衛門を襲うのでした。

艶麗と怪奇が織り込まれた清元の名曲としても知られる舞踊をお楽しみ下さい。

平成23年5月12日(木)10:00より電話予約・Web受付開始!



新橋演舞場へのアクセスは「東銀座」が便利です。

◆東京メトロ日比谷線・都営浅草線、「東銀座駅」6出口より徒歩約5分

◆都営大江戸線「築地市場駅」A3出口より徒歩約3分

◆都バス 都03(四谷駅～晴海埠頭)/都04(豊海水産埠頭～東京駅南口) 都05(晴海埠頭～東京駅南口)/業10(新橋～業平橋駅前) 「築地」下車徒歩3分

◆首都高速 銀座出口すぐ

*駐車場は「タイムズ東劇ビル駐車場 TEL.0120-77-8924」または、「松竹スクエアパークギング TEL.03-6226-5921」をご利用ください。
*駐車料金を割引いたしますので、駐車券をお求めの場合はお持ちください。



お食事事前予約のご案内

ご観劇日前日午後6時までにお電話、もしくはインターネットにて承ります。

TEL:0120-224-117 (フリーダイヤル)
<http://www.shinbashi-enbujo.co.jp>

◆御観劇料(税込)

1等A席 15,000円／1等B席 11,000円

2等A席 7,000円／2等B席 5,000円

3階A席 5,000円／3階B席 3,000円／桟敷席 16,000円

※当日券はご予約いただけません。
電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

チケットホン松竹 (10:00～18:00)

ナビダイヤル 0570-000-489 または 03-6745-0333

※ナビダイヤルは、PHSまたは交換機等の設定によってはかかりません。

※窓口販売・お取り扱いは、5月14日(土)午前10時より ※窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

チケットWeb松竹



(パソコン・携帯電話より24時間受付 前売初日は10:00から)
※事前登録(無料)が必要です。

チケットWeb松竹のお問い合わせは

03-3545-2200 (10:00～18:00)



[お願い] 買い上げになりましたチケットは、興行中止をのぞいて、ご変更やお取消しはいたしておりません。
また、転売目的でのチケットの購入は固くお断りいたしております。

●電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード411-649) pia.jp/ ●CNブレイガイド 0570-08-9999 www.cnplayguide.com/

●ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード33400) l-tike.com/ ●イープラス eplus.jp

新橋演舞場へのアクセスは

東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座駅」6出口より徒歩約5分／
都営大江戸線「築地市場駅」A3出口より徒歩約3分